



第 905 号 ミニかわら版

令和 5 年 9 月 15 日
(この資料は全部お読みいただいても60秒です)

ヤマダ総合公認会計士事務所
代表 山田良平

〒124-0012
東京都葛飾区立石 1-12-11 ヤマダビル
TEL:03-3694-6091
FAX:03-3691-6680

国の借金、6月末時点で約1276兆円と過去最大に

財務省は令和5年8月10日、国債や借入金などを合計したいわゆる「国の借金」が、令和5年6月末時点で、過去最大だった令和5年3月末から5兆8165億円増えて過去最大を更新し、1276兆3155億円だったと発表しました。かたや令和5年度の税込総額は約69兆円と5年連続で過去最高を更新する見通しですが、高齢化による社会保障費の膨張に加え、新型コロナ対策や物価高対応の財政支出などがあるため、約35.6兆円の新規国債発行で歳入不足を賄う予定で、国の借金は膨張が止まりません。令和5年3月末時点の「国の借金」と比べますと、国債は▲約2.3兆円の約1134.1兆円で全体の約89%を占め、うち普通国債は▲約0.5兆円の約1026.6兆円と3月末からは微減となりました。国債の内訳は、長期国債(10年以上)が約7.7兆円増の約785.9兆円、中期国債(2年から5年)も約3.4兆円増の約186.9兆円と増加しましたが、短期国債(1年以下)が▲約11.5兆円の約53.8兆円と減少して全体を押し下げました。

令和5年6月末時点の「国の借金」約1276.3兆円は、令和5年度一般会計予算の歳出総額114兆3812億円の約11倍、同年度税込見込み額69兆4400億円の約18.4倍にあたり、これは年収500万円の会社員が9200万円の借金を抱えている勘定です。また、この借金額をわが国の今年7月1日時点での推計人口1億2456万人(総務省統計局の概算値)で割ると、国民1人当たりの借金が、3月末時点の約1021万円から約1025万円に増加しています。

一方、わが国の公債残高(普通国債残高)は年々増加の一途を辿っており、令和5年6月末実績の公債残高約1026.6兆円は、令和5年度末(令和5年度当初予算ベース)では約1068兆円と見込まれています。これは、令和5年度一般会計予算税込見込み額約69.4兆円の約15年分に相当し、わが国の推計人口(上述)で割ると国民1人当たり約857万円にのぼり、将来世代に大きな負担を残します。ちなみに、国及び地方の長期債務残高(上記「国の借金」から財投債、政府短期証券等の債務を除き、国負担分の長期債務と考えられる普通国債、借入金、交付国債等に地方負担分の長期債務を合計したものは、令和5年度当初予算ベースで約1280兆円に膨らむ見込みです。

*詳細はこちらからご確認いただけます。

「国債及び借入金並びに政府保証債務現在高(令和5年6月末現在)(財務省)」(令和5年8月10日)
<https://www.mof.go.jp/jgbs/reference/gbb/202306.html>

